

# 日本学生支援機構給付奨学生の推薦基準

鳥取県立岩美高等学校

独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の募集する給付奨学生採用候補者については、本推薦基準に基づき、鳥取県立岩美高等学校給付奨学生採用候補者選考委員会に諮ったうえで、機構から示される人数の範囲内（社会的養護を必要とする生徒を除く。）で基準該当者を選考し、校長が機構に推薦するものとする。

## （１）家計について

生計を維持する者が、以下の①、②のいずれかに該当し（社会的養護を必要とする生徒を除く。）、生活環境などを勘案して、親権者からの支援が見込めない等、生徒の進学が非常に困難な状態にあると認められること。

- ① 市区町村民税所得割を課されていないこと（奨学金申込年度の課税証明書に記載の所得割額が0円であること）
- ② 生活保護を受給していること（奨学金申込日現在において保護費を受給していること）。

## （２）社会的養護を必要とする生徒について

本推薦基準の社会的養護を必要とする生徒とは、満18歳時点で以下の施設等に入所等（見込みを含む。）している生徒をいう。

- ① 児童養護施設（児童福祉法（昭和22年法律第164号）第41条に規定する施設）
- ② 児童心理治療施設（同法第43条の2に規定する施設）
- ③ 児童自立支援施設（同法第44条に規定する施設）
- ④ 児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）を営む者（同法第6条の3第1項に規定する事業を行う者）
- ⑤ 小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）を営む者（同法第6条の3第8項に規定する事業を行う者）
- ⑥ 里親（同法第6条の4に規定する者）

## （３）人物について

以下のすべてに該当すること。

- ① 進学の目的が明確で、希望する進学先及び将来への展望がある。
- ② 校則を遵守し、本校生徒にふさわしい学校生活を送っている。
- ③ 学校行事等において他の生徒と協力するなど、十分な協調性を備えている。

#### (4) 健康について

以下のいずれかに該当すること。

- ① 定期又は臨時の健康診断等により、概ね健康であると認められる。
- ② 心身に障がいや疾病がある場合であっても修学に耐えられると見込まれる。

#### (5) 学力及び資質について

以下の①又は②のいずれかに該当すること。ただし、社会的養護を必要とする生徒等は③に該当すること。

- ① 以下のいずれかに該当する。
  - ア. 調査書における学習成績概評が「A」に該当する。
  - イ. 上記に準じる学習成績を収め、直近の学習成績に著しい努力が認められる。
- ② ア～ウのいずれかに該当するか又は類似の活動が認められ、かつ (i) 又は (ii) のいずれかに該当する。
  - ア. 課外活動（部活動含む）に積極的に参加し、具体的な成果・成長が認められる。
  - イ. 生徒会の役員等を経験し、具体的な成果・成長が認められる。
  - ウ. ボランティア、地域活動等に積極的に参加し、具体的な成果・成長が認められる。
  - (i) 調査書における学習成績概評が概ね「B」に該当する。
  - (ii) 上記に準じる学習成績を収め、直近の学習成績に努力が認められる。
- ③ 以下のいずれかに該当する。
  - ア. 評定平均値3.5以上の教科又は評定4.0以上の科目が1つ以上ある。
  - イ. 進学先での学修に対する意欲が認められる。

規定日 平成29年5月23日